

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2011.02.14-2011.02.20 36号

武漢晩報より 2011年2月15日付き

武漢老舗飲食企業のチェーン店開業に

最高100万元(約1300万円、1元=13円で計算)の補助金

先日、武漢市は老舗ブランドの再指定をすることを発表し、選考を3月、正式に開始することがわかった。昨日、武漢市商務局の情報によると、武漢市政府はこれからの5年間、財源から2500万元(約3億2500万円)の専門資金を出し、老舗企業の発展を支援する予定である。そのうち、飲食業の老舗がチェーン店を開く場合、最高100万元(約1300万円)の補助金を交付する。

今回の補助金対象は主に伝統的な飲食サービス業老舗企業である。そのチェーン店の新設、経営拠点の増設、或いは新商品生産ラインの建設などの項目を申請する場合、実際の投入資金の30%の補助金交付を受けることができる。個別項目の補助金の最高額は100万元(1300万円)である。そのほかに、製品開発、技術イノベーションの項目を申請する場合、40%の補助金を受けることができ、補助金最高額は30万元(390万円)である。

長江新聞より 2011年2月18日付き

武漢市第12期人民代表大会第7回会議が昨日にて閉幕

唐良智氏が武漢市新市長に

昨日、武漢市第12次人民代表大会第7回会議が閉幕した。阮成發前市長は武漢市第12次人民代表大会常務委員会主任に当選し、唐良智氏は武漢市長に当選した。

その他に、張河潔氏は武漢市人民代表大会常務委員会副主任に就任し、沈濤氏等8人は人民代表大会常務委員会委員に当選し、王晨氏は武漢市中級人民裁判所の裁判長に選ばれた。

今回の大会では、「国民起業の更なる推進、中小企業発展促進案の加速」、「水利基礎施設建設の加速、農業防災能力案の向上」、「学齡前児童の教育の発展、「入園難」の解決」を会議議案とし、2011年にこれらの改革案の実施状況を監査する予定である。